

トイレについて

事前にいただいた質疑

- ・現スタジアムのトイレ問題を解決していただきたいです
 - ・せめてトイレだけでも、いち早く整備出来ないものか？
- ※他、同様のご意見ご要望を多数いただきました。

ご回答

アウェイのゴール裏も含めてトイレの状況は、来場者満足度を下げている現状を重々理解しております。その中で、ライセンスの中にトイレ基準・屋根基準がある中で、我々は新スタジアムを作るということで、二重投資を避けようすることを話しているものの、我々のクラブが主体となる試合・ゲーム以外にも八橋陸上競技場（ソユースタジアム）は陸上の大会など様々な形で活用されている。そういった中で様々なご意見が秋田市さまへいつていることも重々承知おります。我々クラブとしましても、いち早くトイレの修繕または新しく修理をするのか、こういった形でできるかわかりませんが行政のほうに今お願いをしている段階です。この後の議会でももしかしたら話が出てくるかもしれません。なるべく早く、皆様が満足できるようなトイレの修繕または新しくできるように調整をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

グッズについて

事前にいただいた質疑

サプライヤー（アスレタ）とのコラボ商品をもっと出してほしい。その際のカラーは青ではなくネイビーや黒をメインカラーにしてほしい（普段着にもしたいので）

ご回答

アスレタコラボ商品については現在検討中です。「普段使いしやすいカラー展開」という点についても、最大限ご要望を取り入れられるよう検討しながら商品化できればと思います。

事前にいただいた質疑

グッズでスーパーのかごのような、買い物した時にレジですぐ入れられるサイズのかごを出してほしいです。

ご回答

以前から何度かご要望をいただいておりますので、現状、ロットや制作費用などは確認し把握できている段階です。他クラブでは福袋などで展開しているケースが多く見受けられるので、ブラウブリッツ秋田として福袋で展開するのか、通常販売商品として取り扱うかなども含め、引き続き検討させていただければと思います。

事前にいただいた質疑

- ・吉田語録グッズをもっと増やして欲しい。
- ・選手の試合写真等を使用したカッコイイデザインのトレーディングカードを販売してみてもどうか？

ご回答

吉田語録グッズについては、試合の状況によっては在庫リスクになることもあるため、慎重に検討させていただいています。ただ、現状来シーズン続投も確定していますので、何かご要望に沿うアイテムの商品化ができないか、引き続き検討していきたいと思います。

【その他来場者アンケートでいただいていた案件についてのご回答】

- ・ドッグアイテムについて

ドッグアイテムについても、これまで多くのご要望をいただいております。来シーズンに向け商品化進行しています。ドッグのみ限らない「ペットユニ」という形で展開予定です。

- ・レプリカユニフォームのサイズ展開について

今シーズン、大きいサイズが欲しいというお声がいくつかございましたので来シーズンはXOよりもうひとつ大きい「2XO」までの展開を予定しております。

最後に、「こういうのが欲しかった」「もっとこういうものがあったら…」など、皆さんからの反応いつも拝見していますし、励みにさせていただいています。今後より多くのファン・サポーターの皆さまに興味を持っていただける、喜んでいただけるグッズの企画や商品展開ができるよう、努めてまいりますので、引き続きお付き合いいただけますと幸いです。

出店（グルメ）・BBパークについて

事前にいただいた質疑

- ・雨天の際の飲食の場所がほぼ無い状況ですが、現状、出来る事は仮設テントの設営等の対応が出来れば考えます。
- ・雨の日、暑い日はテントを立ててほしいです。スタグルを食べるときのテーブルや椅子を増やしてほしいです。
- ・雨の時にスタグルが食べづらいです。雨が当たらない場所を増やす等もう少しなんとかならないでしょうか？

ご回答

今シーズンより飲食できるテーブルイスは数を増やして設置をさせていただきました。一方で、テントの増設についてはほぼできていなかった状況です。来季については簡易屋根の設置も含め、テントの増設を検討しております。

今シーズンにつきましては、テントは中々出す機会が少なかったですが、テーブル・イスについては昨シーズンより多く設置できたかと思います。ただ、やはり雨の日ですとあのスタジアムですと防ぐ場所がほぼない、スタジアム自体に屋根がかかっていないということもございますので、来シーズンにつきましては補助金も含めてうまく活用しながら、テントの数を増やすようにしていきたいと考えております。

事前にいただいた質疑

ホームゴール裏席のメインスタンド側に、スタグル売店を設けるのはいかがでしょう。ハーフタイムにスタグルまで買いに行くと、後半開始に間に合わず、ハーフタイムイベントも見ることができません。

飲食用のテーブルと椅子のセットを予約制有料で提供すれば売上也アップ。テント席があれば、日差しと雨を避けて快適観戦。

ご回答

今シーズン、テスト運用としてまずはパックススタンド側に売店を配置させていただきました。順番ではありますが、改善に努めている状況です。少し時間はかかってしまいますが、ゴール裏のところも含めて順次対応していく予定です。ですが、みなさまにはご理解いただいているかと思いますが、ゴール裏の部分は通路がかなり狭くなっていたり、ゴール裏のサポーターの方だけではなく一般の方も使っていただく道となっておりますので、そういったところも含めまして避難通路として使う部分でもありますので、確実なスペースが確保できるかどうかも含めて今後検討していきたいと思っております。

事前にいただいた質疑

- ・ブラウゴンの焼印入りの大判焼きをスタグルで販売して欲しい。
- ・毎試合出店しているスタグルで選手プロデュースまたはコラボのメニューを販売するとかして見てはどうでしょうか？

ご回答

ぜひ前向きに検討させていただきます。

事前にいただいた質疑

スタグルの一部店舗（ZOT）でスタグル販売所に椅子を置いてそこで一部サポがたむろしているのを何度も拝見しています（お酒呑んだり駄弁っていたり）

他店舗ではその様な椅子を置いてるとかは無いのですがその店舗だけ特別扱いでもしているのですか？

傍から見てあまり良い気はしません。撮影禁止の張り紙をしているのも見えています。

クラブとして特別扱いしているのか見逃しているのか教えてほしいです。

ご回答

フロントスタッフも状況は確認しております。ただ、クラブとして注意したり取り締まる対象ではないことからお声がけはしておりません。保健所に確認をしまして、出店の際に飲食スペースを提供することは規則違反ではないと確認しておりますし、今まで問題なく運用をさせていただいております。且つ、こちらのお店（ZOT）だけではなく、他の出店業者さんも同じようにイスだったりテーブルを提供していただいております。

一時的に人が多く集まり威圧的に見えることがあるかもしれませんが、荷物を置くスペースだったり飲食を楽しんでいただくスペースとしてご提供いただいておりますので、今後も継続して運用できればと思います。

ボランティアについて

事前にいただいた質疑

当日ボランティアのキックオフまでの人手が足りません。

ご回答

前日ボランティアさんについては、前年比150%という形で増えてきましたが、当日ボランティアさんについては昨年より少し減っている状況となっておりますので、来季に向けてスポンサー企業を回るなど新たな取り組みを取り入れながら当日ボランティアさんを増やすことを、しっかり数値目標を定めて行動をしていきたいと考えております。

事前にいただいた質疑

会場設営ボランティアに中学生の参加も可とできないか。

試合後のゴール裏のぼり旗撤去を大人たちに交じり小学生や中学生も自主的に手伝ってくれています。応援だけでなく何か手伝いたい・関わりを持ちたい、地域でボランティアをしたいと思ってる子どもたちは多いと思います。そこで、前日の会場設営ボランティアについて親や保護者同伴であれば参加OKとできないでしょうか。当日ボランティアは運営上責任が重いと思いますが前日準備であれば移動やケガ等万が一の場合は親同伴であれば対応しやすいと思います。

ご回答

前日であれば怪我するリスクが低い業務がありますので、是非採用させていただきたいと思えます。

試合観戦・会場・演出等について

事前にいただいた質疑

雨の日に場内アナウンスがあっても傘をさして観戦している人がいるので、各入場入口でもはっきりわかるような案内があったら良いと思います。

ご回答

現状、場内アナウンスを複数回入れておりますが、来季は各ゲートにラミを掲示したり、ゲートスタッフよりお声がけをする等の対応をプラスでさせていただきたいと考えております。

事前にいただいた質疑

・来場プレゼントをビジター側にもお願いします

ご回答

・ビジターゴール裏では全試合、ブラウブリッツ秋田後援会協賛のもと先着でサッカーもなか等をプレゼントさせていただきました。試合によっては冠スポンサーさんから、色々なものをプレゼントさせていただいております。

配布するものについては、協賛いただく企業様のご意向等もございまして、そちらもしっかりうけとめながら調整していきたいと思えます。

事前にいただいた質疑

- ・試合開始前の選手方とやる秋田県民歌は止めた方が良い
 - ・県民歌が気になります…。選手監督が歌ってくると、とても、とても、嬉しく感動していますが、ホーム毎回ではなく、ホーム開幕戦とホーム最終戦とかだけでも良いのでは…と、思ったりしました。
 - ・秋田県民歌を歌うのはとても素晴らしいと思います。マンチェスターユナイテッドのホームゲームで会場の一体感をテレビで見て憧れています。継続をお願いします。
- いちファンとして私も歌いたいのですがキーが高くて歌えません。応援団の絶叫を聞くだけ。スタンドで歌っている人はいません。とても残念です。
- サッカー用にアレンジしても良いのではないのでしょうか？ご検討宜しくお願いします。
- ・応援練習最後の「ゴール」は止めた方が良い

ご回答

今シーズン途中からサポーターの皆さんからのご要望もあり、アップ開始前のタイミングでゴール裏のところで選手スタッフを交えて県民歌を歌うということをご案内いただきました。賛否さまざまな意見をいただきましたので、しっかりと受け止めながら来季については実施の回数やタイミングも含めて検討していきたいと思っております。

・コロナ禍になってからは県民歌の声出しをNGにしておりましたが、昨シーズン途中から声出しが可能になったタイミングでサポーターの皆さん主導のもと歌っていただいておりますが、キーにつきましてはどこを基準に合わせるのかという部分もありますので、会場にいる方全員が気持ちよく歌えるキーにするというのは難しいですが、原曲のキーに合わせるのが一番いいかと思っておりますので、サポーターの皆さんと相談させていただきながら調整をしていきたいと思っております。

事前にいただいた質疑

試合後の選手サインですが、デーゲームの勝った時で時間があるときだけで良いような気がします。ナイターや、引き分けの時はやらなくても良いのでは？と思っております。

ご回答

今シーズンのスタート時点では勝敗に関わらずバックスタンド・ゴール裏交互に実施をさせていただきまして、

途中で負けた時はさすがに、という声をファンサポーターの皆様からいただき調整をし、その後は勝利・引分け時にのみ実施という形になりました。

実施の趣旨としましては、来場された子供たちに対して喜んでいただきたい、また観にきたいと思っております。来季については勝敗の部分も含めて実施の可否については検討していきたいと考えております。

事前にいただいた質疑

Bステージ、楽しみにしています。出演者の依頼などはどうされているのでしょうか。

ご回答

クラブが各アーティストさんなどに個別にお声がけさせていただいております。

来シーズンはステージ以外の部分でも「楽しさ」といったものを提供できれば考えております。

もし出演希望されるアーティストさん等いらっしゃいましたら、是非ご要望いただけますと幸いです。

事前にいただいた質疑

これまでスタジオで撮影されていた各選手の先発選手発表等の紹介映像ですが、男鹿半島、田沢湖、十和田湖、鳥海山、角館、秋田犬の里、秋田駅前など、県内各地の観光地や練習グラウンドで撮影したものをホーム試合時に流せばアウェイサポーターへの観光PRだけでなく県内各地の新規サポーターの獲得にもつながるのではと思いました。

ご回答

選手紹介映像に組み込むのはなかなか難しいですが、BBパークで各市町村やホームタウンの特産品名産品を販売する等をし、県民の方々であったりアウェイサポーターの皆さんに対してPRできればと考えております。

集客について

事前にいただいた質疑

純粋なサポーターとは呼べない人間からの勝手な要望なのですが、徒歩15~20分程度で行き来できる、ソユースタジアムでのブラウブリッツ秋田ホームゲームと、CNAアリーナあきたでの秋田ノーザンハピネッツさんの同日ホームゲームを、なんとかハシゴ観戦出来るような試合開始時間に設定・調整してもらえませんか。例えば片方を13時開始、もう片方を16時開始とかにしていただければ。

新県立体育館が稼動するようになればやり易くなるのかもしれませんが、同時期に新スタジアムも稼動されていて可能性を考えると、ここから数年がチャンスなのかなと思っております。今のうちのお楽しみとして是非ともご検討をお願いします。

ご回答

現状、リーグ戦実施時期が異なるため全ホームゲームを調整するのは現実的に難しいですが、来季の日程を調整する材料の一つとして検討はしていきたいと思っております。

事前にいただいた質疑

イベントやグッズなど充実しスタッフの方々の努力が過去最高の集客につながったと思います。屋根がない・トイレが暗い・駐車場が少ないなど集客に対してはハード的にかなり難しいとは思いますが、それを逆手に取ったイベント（例：ゴール裏でバーベキューなど）や、より地域密着型（選手がサポートショップの一日店長など）も企画してみれば面白いかと思います。※サポーターへもスポンサーやサポートショップの売り上げ増に貢献できるようアピールもお願いします。

ご回答

すぐに改善できる部分は取り組んで参りたいと思っておりますが、すぐに改善できない部分もございます。

秋田駅から歩いていただけるような地域・商店街と連携した取り組みを企画して実施していければと考えております。

サポートショップについては、SNSでの発信を強化、共通ハッシュタグでみなさんと一緒に盛り上げていくキャンペーンなどを検討しております。

事前にいただいた質疑

今年の総入場者数は65912人、平均入場者数は3,139人と数字だけ見ると昨年よりも増加しています。

しかし、この入場者数の伸び分はほぼアウェイサポーターの人数ではないかと感じます。特にコロナ禍明けでの清水、仙台、山形のプラス分が大きく関与しているのではないのでしょうか。試合に行くたびに感じる感覚として、バックスタンドやゴール裏は増えたものの、メインスタンドの人数が減っているように思えます。これは秋田の新規客を増やせていないように感じます。集客チャンスだった昇格・優勝がコロナ禍だったため、苦しいとは思いますが秋田にブラウブリッツを根付かせるための抜本的な対策が必要に感じます。

ご回答

ホームのファンサポーターの入場者数の推移を見てみますと、2020年が21,411人、2021年が40,449人、2022年が41,201人、2023年が58,666人となっていて、秋田の方々が確実に増えていると数字の上でも見て取れます。ただ、ご指摘いただいたとおり、ビッククラブと呼ばれる対戦チームとの試合で集客がしやすいという現状もございます。

ライトなお客さんが来やすい対戦チームありきの集客もあるかとは認識しておりますが、新規のお客様に会場に来ていただくきっかけになるのであれば、対戦チームありきで集客することも施策の一つとしてはいいのではないかと考えております。また、初めて会場にいらした方々がもう一度来たいと思う仕掛けや工夫を作りながら、今後も秋田の方々が何度も来ていただけるような試合会場・集客施策を作っていきたいと思っております。

事前にいただいた質疑

選手を知る機会を増やすと応援したくなるのでは？とにかく観客動員数をどうすれば増やせるかマーケティングして他の良いところを取り入れていけばよいのでは。

スタジアムの設備には不満だらけなので仕方ないけど、ソフト面で工夫出来ることはきっとあるはず！

ご回答

選手を知ることがクラブを応援するきっかけに必ずなると思っていますので、より選手との接点をさまざまな形で作っていきたくと考えています。

ご意見いただいたとおり、ソフト面でクラブできることをやっていきたくと思っておりますし、他のクラブを参考にさせていただきながら、より良い取り組みはうまく取り入れてやっていきたくと思っております。

選手を知ることがクラブを応援していただけるきっかけになることは間違いなく思っていますので、選手を知ってもらう・選手を好きになってもらう取り組みは今後も、接点を作るといった意味で取り組んでいきたくと思っております。

その他

事前にいただいた質疑

・J1を目指す上でより質の高い選手を獲得するためにも経営規模は大きくしていかなければならないと思いますが、クラブとして増収につながるような具体的なビジョンはありますか？

・チーム人件費がJ2最下位、J3から見ても中位レベルの中J2残留を続けていることは選手、監督、強化部の素晴らしい働きがあってのものと思いますが、現実問題として昇格プレーオフを狙うのであれば人件費を増加させて選手のクオリティを上げる必要があると思います。現状では吉田監督の手腕に甘えるような状態になりつつあるように見えて不安です。これは一朝一夕でなんとかなる話ではないですが、最優先事項で取り組む必要があると思います。何か取り組みや展望等があれば教えてください。

ご回答

仰られる通り経営規模を上げていなければ我々に未来はありません。設立以降毎年、当クラブは売り上げを伸ばしており下がったことは一度もありませんでしたが、今シーズンはリーグからの配分金が5,000万円減り、我々のような売上10億円未満規模のクラブにとっては非常に大きなインパクトがありました。それでも弊社社員達の努力によってほぼカバーは出来たわけですが、最終の着地は昨シーズンよりも若干減収になる見込みです。2022シーズンのJ2平均売り上げが17億円で我々は今シーズンでその約半分の8.5億円。売り上げを伸ばし成長をしているとはいえ、他のクラブも成長しているわけですから、上のクラブに追いつき追い越すためには成長の角度を上げていかなければなりません。その施策として3つの取り組みを行って参ります。一つ目は当たり前ですが各セクションの売上を上げていくことです。入場者数を増やし入場料収入を伸ばす。入場者数を上げることは物販収入を増やすことにも直結します。そして、入場者数を上げることでスポンサーの露出が上がり価値も高まりますので、必然的にスポンサー収入を上げることが出来ます。また、県内だけではなくA2Careさんのような首都圏の企業にも大型スポンサー獲得に向け積極的にアプローチして参ります。二つ目は、後のクラブハウス整備部分のお話で詳しく触れますが、我々のリソースを活かした新たな事業への挑戦をして参ります。三つめは今お話しした二つを大幅に増やすことを可能とする新スタジアム整備の実現です。安心安全な観戦環境はもちろん、フットボール専用のスタジアムはよりサッカーの魅力を伝えられ、ファンを増やすことが可能であると捉えております。また観客席に屋根があれば天候に大幅に左右されずに集客することが出来ます。クラブの売り上げ拡大が図れるのはもちろん、この街の価値自体を上げることが出来るものと捉えております。クラブとしてはこの3つを進めていき、2028年には15億円を突破できるよう取り組んで参ります。

事前にいただいた質疑

ブラウゴンの妹かお姉ちゃんか恋人の登場を

ご回答

現状、新たなマスコットの登場は予定しておりませんが、きっかけやタイミングをみて検討したいと思います。

事前にいただいた質疑

県南地域で、まだまだブラウブリッツの知名度が足りていないと感じた。
新スタジアム建設のためにも、県南地域でイベント等行い、知名度向上等に繋げて頂ければと思います。

ご回答

県南地域での周知について、小学生以下が無料のキッズパスのチラシを小学生に配布するなど、配布エリアの拡大を検討しています。
また、イベント実施については、今シーズン何回か県南地区でもイベントを実施させていただきましたが、周知の部分は少なかったと思います。基本的にはホームタウン市を中心にイベント等実施していきませんが、今後拡大できるように人員体制含め検討してまいります。

事前にいただいた質疑

地方は大きな駐車場は必須で気軽な来場に繋がるので、駐車券付きチケットを販売可能であれば試して欲しい

ご回答

駐車場不足についてはファンサポーターの皆さんにご不便をおかけしております。来季は新たな駐車場確保に向けて動いている状況です。また、シャトルバスの増加や活用方法等も含め検討調整しておりますので、来季の開幕までにいいお知らせができればと思います。

事前にいただいた質疑

J1に行く為、海外選手の獲得が必要だと思えます。その費用の為 ユース強化、チア設立で将来的観客数を増やす。スタグルも地元色を出してアウェイからの客を増やすよう目玉商品（味、価格、量-きりたんぼや比内地鶏、稲荷うどん）、四国コラボの仲良しコラボとかの販売案が必要。Bリーグのノーザンハピネッツとの協力関係の構築も必要かと。

ご回答

海外選手の獲得については予算の都合もあり現状なかなか難しい部分ではありますが、スタジアムグルメに関しては、検討できる内容ではございますし、秋田ノーザンハピネッツさまとの連携もキックオフ時間の調整をしてはしご観戦をできるようにするなど実施できるかと思えます。来季もノーザンブレッツさんアランマーレさんも含めた他スポーツクラブとの企画を検討していければと思います。

事前にいただいた質疑

ソユスタでの勝利数を増やすためにクラブとして取り組もうとしている事、サポーターに協力して欲しい事等があれば教えてほしいです。

ご回答

一番は「来場者」を増やし大きな声援で選手をあと押しすることだと思っております。
近年、エンタメやスポーツ観戦にいくきっかけが「知人に誘われたから」というボリュームが非常に高いです。
そういった意味では、ファン・サポーターの皆さまにはもっともっと周りの方を誘ってソユスタに連れてきていただきたいですし、皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。
来季については、「誘い誘われプロジェクト」と題してサポーターの皆さまが誘いやすい環境を可能な限り作っていく予定です。

事前にいただいた質疑

ファンクラブに入会したが来場ポイントの貯め方がイマイチわからなかった。各入場口に来場ポイントの貯め方を掲示する等してほしい。

ご回答

ポイント交換は2024シーズンからファンクラブの全会員共通特典としても推していきたいポイントでもあるので、SNS・試合会場ともに分かりやすく掲示、案内できるよう検討していきます。

事前にいただいた質疑

J3のFC大阪がユースチームの要件を満たさずJ2ライセンス取得できませんでした。ユースチームがあることはライセンス上大切なことなので、ユースの活動や試合をもう少しPRしてもよいのではないのでしょうか。X(旧Twitter)でプリンスリーグの試合予定などは詳しく載っていた時期もありましたが、各世代の週末のユースチームの試合日程を分かりやすく載せる(現状は各世代バラバラにUP)、鳴り物応援の可否など、もう少しわかりやすく掲載していただきたいです。親元を離れ秋田で頑張っている若い世代が、たくさんの人に応援されて秋田に来てよかったと思えるようにできたらなおよいと思います。

ご回答

アカデミーに目を向けていただいていることに感謝申し上げます。
SNSでわかりやすく記載することに加えてホームページへの掲載など、より多くの皆様にアカデミーの活動や試合結果を知っていただけるよう改善していきたいと考えております。
アカデミー選手が試合会場でサポーターの方から応援していただくことによって、感謝の気持ちを持って日々活動できるよう、クラブとして取り組んでまいります。
今後もアカデミーに対してお気づきの点がございましたらご指摘いただけますと幸いです。
来シーズンもアカデミーを宜しく願いいたします。

事前にいただいた質疑

ホームゲーム運営への意見とは少し違いますが、徳島・群馬等がエンブレムのリブランディングを発表しています。時代の流れやクラブの成長に伴い、エンブレムも変わるべきと私は思います。今のエンブレムには歴史やサポーターの想いが詰まっていることはよく理解していますが、若いサポーターを増やすためにはスタイリッシュなエンブレムへの変更も検討する必要があると思います。

ご回答

新たなファンを獲得（顧客拡大）するためのプロパティのリブランディングは有効であると認識しております。
来年、クラブ設立15周年を迎えます。そしてその5年後には20周年を迎える事になります。
節目の年はプロパティのリブランディングを行うきっかけにもなるかと思えます。
ステークホルダーの皆様と共に前向きに、建設的に検討して参りたいと思えます。

事前にいただいた質疑

特に首都圏には秋田料理を提供する飲食店が多くあります。賛同いただいた首都圏のお店があればサポートショップに加入いただき、首都圏で新規サポーター獲得のハブにもなり得るのではと思います。

ご回答

サポートショップの拡大について、まずは秋田から街を青く染めていけるように取り組んでいきますが、首都圏での店舗さんなどへもぜひ拡大していければと思いますので、もしそのようなお店がございましたら、サポートショップのご紹介などをしていただければ非常に嬉しいです。

事前にいただいた質疑

他のクラブを見ると選手が県内の各市町村やお店をアピールするとかしているが秋田でも出来ないか？

ご回答

ホームタウン行政との連携などをしながら実施できるように社内の人員体制含め検討してまいります。

今シーズン開幕前に検討をしましたが、自体毎に露出の差が出たり、形骸化する恐れもあり今季は実施しませんでした。

まずは、ホームタウン行政との連携などをしながら実施できるように社内の人員体制含め検討してまいります。

事前にいただいた質疑

旧Twitterでいつも丁寧に試合情報等をわかりやすく周知いただきありがとうございます。旧Twitterと同じ投稿頻度までいなくても、もっとFacebookで情報提供を増やしていただけるとFacebook内に存在する秋田県人コミュニティ等に周知しやすい、情報が伝わりやすくなるのではと思います。

ご回答

来シーズン、各SNS媒体での発信は各利用者層(ターゲット層)にあった発信、露出を行いたいと考えております。

その中の1つとして、ご意見をいただいたFacebookの発信計画についても社内で検討させていただきます。

事前にいただいた質疑

アジショナルタイムにファールしPK・FKを与えるのはどうしてなのか。チームとして戦術、守備が浸透していない理由を教えて欲しい。

ご回答

今季のアディショナルタイムでの失点が8。総失点44の内のアディショナルタイムでの失点の占める割合が、18%。

J2におけるアディショナルタイムでの失点総数が73の内、秋田が占める割合が11%もあるという状況でした。

内訳はPKが4、フリーキックから1、パワープレーから1、その他が2となっています。

アウェイ仙台戦での反省をしっかりと現場と話をし、その改善としては栃木戦・いわき戦・清水戦の3試合については終盤での守備ラインの押し上げをしながら対応できたのではないかと思います。

失点のところを注目されていますが、得点部分に目を当てていきますとアディショナルタイムでの得点は0でしたが、80分から90分にかけての得点は総得点37のうち10得点あり、終盤での得点を奪いに行く姿勢については評価できる部分だと考えております。

今後の課題としましてはラインの押し上げ、守備システムの変更というところを現場のスタッフと共有し来季につなげていきたいと考えております。

事前にいただいた質疑

クラブハウス建築について、現在までの進捗状況など、出せる情報はもっと開示した方がよいと思います。

ご回答

クラブハウスについては当初想定していたより半年程遅れております。

理由は、グリーンサムの杜の敷地内建設場所についての調整が難航したためです。県内外多くの企業の皆様からご寄付を頂いております。その想いをベストな形にすべく、クラブとしては選手達のためにも最適な位置や規模を実現するためにこれまで調整をしておりました。

関係者様にもご理解を頂き2月からの着工が決まり来年の夏頃には完成する予定となっております。

一方で昨今の物価高騰、人件費の高騰により当初予定していた金額の倍くらいにコストがかかる予定で、県内外の企業の皆様にご賛同いただけるよう鋭意取り組んでおります。

事業自体は残り1年4ヶ月程となっておりますので、是非ファンサポーターの皆様のお近くで寄付を検討いただけそうな企業がありましたらご紹介ください。企業にとっても税の軽減効果が最大90%となり実質の自己負担が1割となる負担の少ないスキームとなっておりますので、宜しくお願い申し上げます。

同じように多くの方々から「個人ではできないのか？」とお問い合わせ頂いておりますので、皆様の想いを受け入れられるよう良い形で準備して参りたいと思います。その際は何卒宜しくお願い申し上げます。

当日いただいた質疑

延期になったホームの町田戦について、町田さんとの連絡の齟齬があって日程の調整が全くつかずというリリースがありましたけれど、それ以降Jリーグ・町田さんから何もリリースがないまま、最終的にはどういことがあってあんなってしまったのかということが、全くファンサポーターからは見えない状態になってしまって、SNSでは秋田の方が連絡の方法が悪かったというような意見も見られたので、そういったところの発信についてはJリーグや町田さんのほうにも確認ですとか、何か問題があったかだとか改善点だとかリリースをするとかを伝えたのかというのが気になりました。

ご回答

リリースさせていただいたことが全てでございます。Jリーグに対してもこの件については色々のご意見をさせていただきました。しっかりとしたJリーグのルールがある中で、一番ネックなのは（移籍の）ウインドウ期間を跨いだりといった部分がありました。真相はわかりませんが、町田さんとしては新たな選手を獲得してから我々と対戦をしたかったのか、自分たちのコンディションがいい日程で試合がしたかったのかといった部分もあったのかもしれない。そういったことは絶対にあってはならないのではないかとということで、私（岩瀬）のほうからリーグに対してしっかりと意見をさせていただきました。リーグのスタンスとしても町田さんに対して、注意喚起を行ったというところでございます。リーグからのリリースであったり、その後のリリースがないといった部分についてはリーグの判断になりますので、あそこに書かれていた経緯が全てということになります。

当日いただいた質疑

昔、アウェイバスツアーをやっていたことがあると思いますが、今はやっていないようですが、今でしたらライトの人たちや新規のファンも増えたので、募集してくれたら自分で交通手段を手配してまではなかなかハードルが高くてという人も思うので、近場の東北や北関東あたりまででしたらバスで行ってその日に帰ってきたりできると思うので、運転が苦で交通手段を確保するのが大変という人もハードルが下がって、アウェイに行く人のまた行きたいと思う気持ちを起こさせるチャンスになると思うので、一度検討していただけたらいいなと思いました。

ご回答

先日募集をしたアンケートの中にもアウェイバスツアーをやってほしいというご意見もございましたので、山形・仙台については前向きに検討をさせていただきたいと思います。

当日いただいた質疑

ホームでの勝率があがらないというので、陸上競技場ということでサポーターとの距離が離れている・屋根がない・西風西日が多いというところは、ソユスタはアウェイにとっても厳しいんじゃないかと言われておりますが、実は我々が一番ハンデを背負っているのではないかという気がしております。そういったこともあります。実際にサポーターが増えてきたときにもっとフットボールの体験というのを増やしてほしいですし、実際は20%はASPスタジアムを使用できると思いますので、全部が全部満員にならない現状があるのであれば、ASPスタジアムでのホームゲームを開催してほしい。

ご回答

今のASPスタジアム、当時のことを思い出すとサッカーの魅力は本当に伝わるスタジアムかなと思っております。

もしかしたら勝利の確率を高めるため部分ではフットボールであり、やっている選手たちも士気が上がるフットボール専用スタジアムというのはまさに必須なのかなと思っております。

ここからASPスタジアムを使うとなると、色々と課題がございます。大型映像措置が無かったり照明の明るさが足りなかったり、諸室関係も不足している。現在、我々はソユスタジアムを軸に、全ての試合を行うということで広告看板の掲出の場所等を決めておりますので、ASPスタジアムでの開催となりますと全てを移動だとか制作物を作り直すなどが出てきます。もう一つは芝の状況です。あの当時はぎりぎり芝の状況もなんとか試合ができる状態を保っておりましたが、あのスタジアムの芝は土壌があまりよくなく、ラグビーのノーザンブレッツさんの試合であったり高校ラグビーも行う場所ですので、J3のレベルでも芝の状況が厳しかったというところなんです。

来年、ASPスタジアムで試合を開催しようと考えますと、今あげた課題を来年の開幕までに解決するのは厳しいですが、再来年くらいに1試合2試合やっていくというのは検討の余地があるかと思えます。

ホームで勝てないというのは、本当に申し訳なく思います。選手たちも同じ想いです。選手たちも皆さんに勝利を届けたいという思いでプレーしてますので、その思いは皆さんにもご理解いただいているかと思えますので、なんとかクラブとして勝利をお届けするべく、冒頭にも申し上げましたが我々はとにかく陸上競技場でもフットボール専用スタジアムのような、選手たちを後押しできる

当日いただいた質疑

ボールボーイの動作が気になります。ボールボーイ一人一人にボールを持たせたり、看板の間を開けたりしてスムーズにボールを拾いにいけるなどをして改善できないかなと思いました。

ご回答

ボールを持たせる個数についてはルールがあるので、全員にボールを持たせることはできません。ここ数年はブラウブリッツ秋田のアカデミーの子供たちに担当してもらったケースがほとんどなので、シーズン当初は少し動きが悪かったりはしますが、回数をこなすことによってスムーズになっていきますし、ボールボーイの対応については、ホームゲーム時に試合を統括するマッチコミッショナーの方からの評価は今年については概ね良好との評価をいただいております。どうしても中途半端なところへボールが行ってしまうと出すタイミングが難しくなってしまうシーンがありますが、そこは仕方ないところではありますので、ボールの出し方・タイミングは試合前にしっかりと指導をしながら、あとは経験をつんで回数をこなすと子供たちも要領が良くなっていきますので、そこは来シーズンもしっかり継続をしていきたいと思っております。

看板のところは気になっていた部分ですので、バックスタンドの看板の配置についてはクラブで改良できるところですので、検討していきたいと思っております。

当日いただいた質疑

今年は例年より暑い日が多かったと思いますが、ナイトゲームの17時スタートだとまだ真夏の日が長い時間とか30℃以上あるし、ゴール裏でいうと初めて他県の方からいつもアウェイに来ている人がホームゲームを観に来ましたという人が、試合直前に日射病で倒れてしまったことがあったり、せっかく試合観戦にきているのに外部環境で試合が見れなくなるというのは、あってはいけないことだと思うので、現状、屋根がないということがあるのでなかなか対応するのは難しいのかもしれないけれども、他クラブの例でいうと水戸さんはアウェイの入場ゲートのすぐそばにミストクーラーをテントにつけて置いて、それは涼むのにすごく良くてあったらいいなと思いました。ゴール裏に関してはどうしても下がコンクリートの石段になっていて、地熱でものすごく熱くなっているので、例えばイベント的に打ち水イベントみたいな形でコンクリートを冷やすものだったりとか、来季以降必要なのではないか思いますので是非ご検討をお願いします。

ご回答

今シーズンの猛暑については、シーズン前には想定できませんでした。Jリーグで定められた夏季期間については17時以降にキックオフ時間を設定しないといけないルールはありますが、それ以外の期間については基本クラブの裁量でキックオフ時間を決められるので、今年の気候状況を踏まえて来季はキックオフ時間を設定していきたいと思っております。

ゴール裏の暑さ対策といった部分は、予算の都合もあります。ミストシャワーやテントを設ける等を検討したいと思っておりますし、イベント的な感じでピッチ側からホースで客席に水を撒くというのは夏場であればいいかと思っておりますので、合わせて検討をしたいと思っております。

当日いただいた質疑

バス待ちの運営についてですが、現状バスが入ってくる位置がビジター側の席の真横になっていて、今シーズンでいうと町田戦についてですが、セキュリティ体制の強化をしていただきたい。今シーズンは大丈夫でしたが今後試合を重ねていく中で、サポーター同士の衝突につながってしまうようなシーンが出てくる可能性が危惧されると思いますので、どうしてもバスが入ってくる位置がビジター側になっているのではない部分はあるかと思いますが、運営体制について強化をしていただきたい。

ご回答

今シーズンの町田戦・栃木戦において、ルール違反したサポーターの方々が前に出てきてという事象が発生しておりました。バスの配置については現状、施設の運用上、来季も変更ができませんので、警備員の数を増やすだとか事前の周知も含めてホームアウェイ両クラブのサポーターへの周知を徹底するところと、アウェイチームのバスが先に到着した際にはブラウブリッツサポーターには応援を自粛していただくという部分も徹底していただくことも大事だと思いますので、相手クラブの担当者とも密に連絡をとりながら、対応をしていきたいと思っております。

当日いただいた質疑

新スタジアムの件について、1年位前ですと多目的スタジアムということで屋内型のスタジアムを推していたかと思いますが、そこから色々二転三転して金沢のスタジアムを目指すことになってますけど 秋田も天候上、これから秋春制にJリーグが向かっていくと思いますが、どうしても多分半分くらいは天候悪い日が続くのではないかと、どうしても秋田の場合ですと強風だったりがあり、観戦環境的に厳しいものがあると思っていて、逆に多目的スタジアムの方を個人的には目指してやってほしいというのがあります、キッチンカーであったり中古車フェアであったり様々なイベントができると思うので、正直言うと運営的には黒字になるんじゃないかなと個人的には思っているんですけど、どうしても費用面的に立ちいなくて金沢型を目指すことになるのかと考えているんですけど、金沢型を目指すにせよなるべく室内で観戦できるスタジアムという方法もあるのではないかと。例えばVIP席みたいな感じで観戦できるエリアもあるとは思いますが、その簡素版として普通の席でもなるべく室内環境に近づけた上で観戦できるエリアが多数あるようなスタジアムにできればいいかと思っておりますので、市や県に要望をしてほしいです。

ご回答

新スタジアムの件につきましては、この後別途時間を設けてますので、そこで合わせてご回答させていただきます。

当日いただいた質疑

練習の見学のところについて、新しい練習場・クラブハウスの見学はできるのかどうか、お話を聞かせたいです。

ご回答

スタジアムが非日常空間だとすれば、練習場というのは皆さんにとっては日常空間にしていきたいと思っております、スタンド観客席といったものをすでに設置をさせていただいております。後はリレーションのところをこちらがしっかり対応できるようになればオープンできるかと思っております。ただ、非公開練習等ありますので全日というのは難しいですが、選手を知っていただく機会の一つでもあるかなとも思いますので、来年以降お越しいただければと考えております。

当日いただいた質疑

オンラインショップでのブラウブリッツグッズが少なすぎる。他クラブはラインナップが豊富だがブラウブリッツは少ないので、できれば試合会場で売っている商品もオンラインで扱ってほしいです。

ご回答

商品の登録や在庫作業ができていなかったり、サイズの関係で配送ができないため販売ができないものもあり、全ての商品をオンラインストアで販売することはできないという状況です。2021年にオンラインストアを始めてから毎年商品数は増えてきている状況ではあります。今後、企画ものとか福袋・今実施しているクリスマスものに加えて、ご指摘いただいたようにより多くの商品を取り揃えられるようできるだけ早く進めていきたいと思っております。

当日いただいた質疑

いつも集客のためにグッズ等を配っていただいていると思いますが、配布の際に入場口でお渡しをするという形をとっていますが、そうすると試合によっては長蛇の列ができてしまいバス待ちに間に合わなくなってしまったりするので、できれば整理券を配っていただきたいと思いますが、いかがでしょうか？

ご回答

運用上、チケットの確認であったり、荷物の確認等で時間を要してしまったりしたところもあるかと思っています。

来シーズンもこういったイベントは計画的に発信をしていければと考えておりますので、運用方法についてはご意見いただいた整理券配布も含めて検討をさせていただきたいと思っております。

新スタジアムについて

事前にいただいた質疑

・リーグから謂わば温情的なライセンス交付は何だったのか？もっと危機感を持って取り組んで欲しい。

・可及的速やかな新スタジアム、または現スタジアムの最適な運用についてフロント側からの現状の考えを改めて知りたい

・「外旭川地区まちづくり」の中の新スタジアムについて

新スタジアムの件が計画をこじらせているようですので、新スタジアム建設を白紙に戻したほうがよいのでは、と思います。

私の認識では、八橋陸上競技場が老朽化しており改修するより新設の方が、ということで現在の場所に新設だと思っておりました。

土壌の問題もあり新設場所が外旭川ですが、私は新設にはこだわりません。新スタジアムの着工の頃、新秋田市立体育館が先だ、になる可能性もあります。穂積市長の公約である新スタジアムについても「いつかの日」の新設で良いといいます。土壌調査などの経費は無駄になるでしょうが、勇気ある判断をお願いします。再度、署名を集めるのも一つの方法かと思います。

・スタジアムが屋外型の金沢みtainなスタジアムで決定ですか？

個人的にはJリーグの秋春制を見据えると秋田県の秋春は天候が安定せず、試合日の半分ぐらいは観客、選手が厳しい天候に晒される懸念があり観客が伸びない恐れがある事から厳しいクラブ運営になるのではと考えています。

また、全天候型スタジアムはよくイベント開催で新県立体育館のアリーナやミルハスと役割が被るのではという懸念があります。しかしそれとは違い中古車フェアやキッチンカーなど車の乗り入れや大規模資材の搬入が行えて平面スペースが広い全天候型の多目的スタジアムは間違いなく他とは違う需要があるのではと考えています。

・スタジアム計画がまた後ろ倒しになるようなニュースが出ています。

今年、ライセンス関係に関してはギリギリだったと聞いていますが、次の後ろ倒しが確定した時点で降格となると認識してらっしゃるとは思います。

現状、スタジアムを整備することなく残留を続けている秋田に対して少なからず不平等感を感じている人もいると思われます。

クラブも含めた意図的な後ろ倒しではないと信じていますが、不信感を募らざるを得ません。

今一度、今後のスタジアム計画に関して県・市・クラブ全体での姿勢を表明していただきたいです。

愛するクラブが外的要因で道を塞がれるのはもう見たくありません。

また、ソユースタジアムの改修に関して、ここまで後ろ向きな姿勢を示してこられたのは存じ上げておりますが、屋根をつけたり客席を改修すると50億から100億近い数字になってしまうという積算を昨年おっしゃられていましたが、新スタジアムが総額143億円で一向に出来る気配がないことを考えるとライセンスのためにも改修に踏み切る判断も選択肢の中に入れておくべきではないでしょうか？

ご回答

新スタジアムの現状につきましては皆様も大変心配してと思います。また、メディアなどの情報においては着工までかなり遅れる予定になっており、ライセンスについてもご心配をおかけしていると思います。我々クラブは発足当初（JFL）時代よりJ2昇格のために必要なスタジアム整備を秋田県・秋田市へ再三お願いしてきました。その間、スタジアム整備のあり方検討委員会、新スタジアム整備構想策定協議会など様々な協議会を開催しましたが、実現には至っておりません。スタジアム議論が加速したのは2017シーズンJ3優勝、また翌年の約18万筆の署名を皆様からのお力添えを頂き知事、市長へ提出することができました。現在、秋田市外旭川地区まちづくり構想の中に新スタジアム整備計画が位置づけられており、昨年度から新スタジアムの整備計画を秋田県・秋田市と我々が軸となり進めてまいりました。ようやく先般卸売市場余剰地を整備場所としお願いしている状況です。今後市場の再編をどのように早められスタジアム整備についても現行のスケジュールをどれだけ早められるかを秋田市と共に協議してまいります。クラブライセンスについては非常に厳しい現状であることは間違いありませんが、今後のスケジュールと共に整備計画をしっかりと作成することが重要であると認識しております。ご質問にありました八橋陸上競技場の改修については、J2クラブライセンス申請時に新スタジアム整備することを約束した形でライセンスを取得することができました。ですので、八橋陸上競技場改修になりますと現行の申請とは異なる状況になるため改修することは難しいと思います。また、建設場所が決まり次第整備計画を進めていく中で規模についても協議いたしますが、金沢の新スタジアムが基準になると思います。先月金沢のスタジアム見学してきましたが、コンパクトでピッチが近く臨場感がある中で、地域色も取り入れた参考になるスタジアムだと思いました。また、秋春制を加味し皆様に観戦環境を考えたスタジアムを検討しております。

シーズン移行について

事前にいただいた質疑

- ・チームはJリーグの方針の秋～春制に賛成なのか。
- ・秋春制についてクラブとしてどのように考えておられるか教えてほしいです。

ご回答

本来であれば、皆様の意見等も早めに聞きたかった議題ではございましたが、9月末のライセンス結果に関する心配の方がきっと先にあるのではないかと思います、その開催に関するタイミングを躊躇しておりましたことをまずはじめにお詫び申し上げます。

シーズン移行については、日本サッカー協会とJリーグ、その他大学リーグなどで構成された将来構想委員会にも降雪地域クラブと呼ばれ、2016年11月から約1年半にわたり議論に加わっておりました。当時、最終結論としては「シーズン移行はしない・できない」となり、再度議論を行う際の条件として「ACLの日程が変更になること」かつ「降雪地域の施設環境が整備されること」の二つの条件をクリアすることの付帯条件のようなものが付いた結論になりました。当時の村井チェアマンも本件においては「凍結」という強い言葉を使ったのを覚えております。そうしたなかで、その条件の一つ「ACLの日程が変更」になったことを受けて、後者の条件は何も変わっていないまま議論が再スタートしたわけですが、降雪地域の環境を整備していくためにも議論すべきであるという野々村現チェアマンの考えもありました。既に皆様におかれましては、リーグが制作した中村憲剛さんなどが出演したYoutube「シーズン移行とは」をご覧になっているかと思えます。まだご覧になられていない方は是非ご覧いただければと思います。非常にわかりやすい動画となっております。端的に申し上げますと、日本サッカー界がさらに発展するためにもクオリティーを上げていかなければならない。クオリティーを上げることで、急成長を遂げたヨーロッパ5大リーグの収益を支えている放映権料を獲得していく。ヨーロッパのシーズンと合わせることで選手の移籍が活性化し、移籍金収入をクラブ経営の柱の一つにすること、プレーのクオリティーが高まること、そのクオリティーを保てるように酷暑の夏場を回避すること。そうすることで、100億円を超えるビッグクラブをJリーグからいつくも作りACLで毎回優勝できるようなリーグを作っていく、ワールドカップのような座組に変更になるクラブワールドカップでJリーグクラブが上位に進出することによって、リーグの価値を高めていこうというのがリーグの目指す理想像です。その理想は十二分に私も理解し賛同しております。一方で多くの課題も残っております。皆様が一番心配される試合開催のスケジュールについてだと思えます。1月はウィンターブレイクがあるのと、12月の2試合ないし3試合はアウェイに逃げることで雪は回避できるスケジュールとなっておりますが、11/12のホーム最終戦もそうでしたが気温4.3度、冷たい雨降りしきる中の試合開催でした。寒くなって来る秋口やまだまだ寒い3月～4月5月にホームゲームが多くなることはクラブにとっては入場者数を伸ばしづらい環境になると危惧しております。皆様が月に使用できる娯楽費もホーム開催が多くなれば負担が大きくなりますし、逆にアウェイが連続してもそれは同じだと思います。チームで考えてもアウェイ連続は非常に選手への負担も多く、クラブ側の視点でも遠征の出費が一カ月にまとまるなど、キャッシュフローの悪化も懸念されます。そもそも、我々降雪地域クラブは1月10日前後から開幕3試合をキャンプ&遠征でしのいできました。そのキャンプ&遠征費はおおよそ4,000万円弱です。降雪地域に生まれた使命とはいえ、非常に負担は大きく、ここにシーズン移行すれば12月の遠征、夏の開幕前のキャンプ費用が加わるとなれば経営的なリスクも生じてくると考えております。移行後に発生したこのような費用についてはリーグの補助に関しても具体的な数字が出てきている状況ではございません。例えば練習場に関してもエアドーム整備にかかわる費用10億円の7割をリーグやJFAが補助するなど具体的に示されてきておりますし、今後新スタジアム整備に関しても芝の下のヒーティングや客席のヒーティングなど具体的なものが出てくるかと思えます。ネガティブなことばかりを並べていても仕方ありませんので、逆に夏の開幕前のキャンプ地に名乗りを上げられるよう既に自治体にはチャンスであることもお伝えはしており、今後JFAも交えて具体的なアクションプランに落とし込んでいければと思っております。

リーグや国内サッカーの発展に向けて大きな舵を切るなかで、降雪地域に配慮していただけるように地域の代表としてこれからも議論に臨んで参ります。